

瀬戸内市とハローワーク西大寺の一体的就労支援の実施について



瀬戸内市長 黒石 健太郎

岡山県瀬戸内市(人口:約3万6千人)

<市長のコメント>

瀬戸内市は人口約3万6千人の小さな町ですが、ある新聞社の「住みやすさランキング」で県内一位に選ばれたことがあります。

平成24年3月30日に「ジョブスポットせとうち」が開所され、以来、本事業の主な対象者である生活保護受給中の方への自立支援の一環として、就労支援を行い保護から脱却の成果を見ているところです。その結果、全国的に生活保護受給者の方が増える中、本市は県内各市で保護率が一番低い状況です。

さらに、市内地域生活支援センタースマイルとも連携し、障害をお持ちの方の就労支援や母子・父子家庭、子育て前後のお母さん等も身近に利用できる場所として市役所内に併設された「ジョブスポットせとうち」で市の相談から就労まで一貫した支援が効果的に行われています。

また、「ジョブスポットせとうち」のPRに努めるなどし、利用者も増加しているところです。これも本事業推進の結果であると深謝しています。

今後とも、雇用施策の担い手である西大寺公共職業安定所と福祉の担い手である市福祉部が、情報交換等より綿密に連携を取って「ジョブスポットせとうち」を効果的に運営し、就労支援の観点から利用者の社会的な居場所づくりのために、より一層取り組んでまいります。